

2003 年度 事業企画委員会 報告

2003 年度事業 地方自治体職員等を対象とした講演会

井野 盛夫
(富士常葉大学
環境防災学部)

講演「巨大地震から生き延びるためには」並びにフォーラム「地域の防災力をどう高めるか」へのパネラー参加

参加者：事業企画担当理事(富士常葉大学環境防災学部学部長)
井野盛夫

日時：平成 15 年 10 月 25 日(土) 午後 1 時～4 時 30 分

開催場所：愛知県豊橋市ライポートとよはし コンサートホール

参加者：800名

参加費：無料

講座テキスト：あいち防災セミナー「地域の防災力の向上を図るために」

趣旨と活動：愛知県は大規模地震対策特別措置法に基づく地震防災対策強化地域に指定されたため、「あいち防災セミナー」を開催して防災指導者の養成に努めている。その一環として基調講演とフォーラムのパネラーとして参加し、学会の活動内容の紹介と入場口においての学会案内のチラシ配布を行った。また、司会者からフォーラムが地震工学会の活動として後援されているもので、講演は学会が提供したものであることを紹介された。

講演の要旨：想定される東海地震の諸元と被害、地震予知がされた時の情報と行動、行政と住民の緊急時の対応、自主防災組

織の必要性について述べた。

フォーラムにおいては、行政の対策と住民の意識、木造住宅の耐震化が進まない理由とその対応、防災教育における市町村の役割、企業の職員研修と訓練内容、まとめについて発表。

強化地域の拡大に伴う防災教育のため、自治体職員、消防職員、自主防災組織役員など各種の受講者が混じっていて、参加者も非常に多く水準が整え難い状況であった。

2003 年度事業 市民を対象とした講座(特別講演会の代替)

地震工学市民講座の開催

日時：平成 15 年 11 月 21 日(金) 午後 1 時～4 時 45 分

開催場所：富士常葉大学 G101 号教室 富士市大淵 325

参加者：92名

参加費：無料、テキスト無料配布

後援：富士常葉大学、静岡県、富士市

講座テキスト：「地震被害を低減するために」52 頁

趣旨と活動：事業企画委員会に所属する会員が講師となって、それぞれの現場調査や研究成果を市民に報告した。開催にあたってはNHK、静岡新聞、富士県行政センター、富士市、富士常葉大学の協力を得て住民に広報した。学会の活動としては初めての公開講座であった。

講座の概要：初めに委員長より挨拶、そして地震工学会の紹介、今回の市民講座が開催された趣旨を述べた。発表内容をテキストとして作成し、参加者に無料配布した。発表時間は一人あたり 25 分であったが、パワーポイントを使い持ち時間内に収まる説明であった。特に、「宮城県地震の被害報告」や「我が家の耐震設計」、「東海地震と予知情報」などに参加者の関心が寄せられた。しかし受講者が専門家ではないため、数式の説明また地盤の固有振動などやや理解されなかったところがあった。同時に協賛企業の技術展示があり、耐震ベッドの展示は参加者の興味を引いたようであった。